

高梁川流域地域づくり連携推進事業 成果の合意書

事業名 : 井原市井原町商店街地区歴史的建築物残存調査事業

グループ名 : 井原市井原町商店街地区歴史的建築物残存調査実行委員会

高梁川流域地域づくり連携推進事業は、高梁川流域市町に地域課題を解決するノウハウの拡がりを生み出すことを目的として実施するものである。

本事業の実施にあたり、倉敷市（以下「甲」という。）と井原市井原町商店街地区歴史的建築物残存調査実行委員会（以下「乙」という。）は、目指す成果とそれを測る指標を以下の内容で合意する。また、乙は以下の実現を目指して事業を実施し、甲はその進捗状況を確認し、必要に応じて助言又は指導を行う。

1 ノウハウの拡がり（グループ参加団体間でのノウハウの拡がりに、どのような成果があるか）

(1) 長期アウトカム（長期の成果）

目標	井原町まちづくりの会のメンバーが、地域の歴史的建築物の調査や支援ができるようになり、井原市における町家再生や利活用など、まちづくりの支援ができるようになる。
----	--

(2) 短期アウトカム（令和3年度事業の成果）

目標	井原町まちづくりの会のメンバーが、町家調査のノウハウを得ることにより、地域に残存する歴史的建築物の価値を再発見し、別のエリアでも町家調査の支援ができるようになる。
指標	井原町まちづくりの会の次年度事業計画に、「今回の調査事業の継続」もしくは「井原市内の他の地域での調査の支援」が入る。

(3) アウトプット（令和3年度事業の直接の結果）

目標	井原町まちづくりの会が調査方法等のノウハウを学び、歴史的建築物の現状について調査を行う。
指標	調査参加者数:現状 0人→事業実施後 40人

2 地域課題の解決（イベント等に参加した住民に対して、どのような成果があるか）

(1) 長期アウトカム（長期の成果）

目標	井原町商店街地区の歴史的建築物の地図を作成することで、地域の残存状況の見える化が実現する。地域での歴史的建築物の価値を認識し、保存・再生の意欲が高まり、具体的な再生や利活用が始まる。地域の価値が高くなっていくことを感じるようになり、再生利活用が高まる。
----	--

(2) 短期アウトカム (令和3年度事業の成果)

目標	井原町商店街の歴史的建築物の地図を作成することで、地域の残存状況の見える化が実現する。残存状況が目に見える形になることで、地域での歴史的建築物の価値を認識でき、保存・再生への意欲が芽生える。
指標	井原町商店街地区の歴史的建築物に関する再生・利活用等の問い合わせ件数: 現状 0件→事業実施後 10件

(3) アウトプット (令和3年度事業の直接の結果)

目標	井原町商店街地区歴史的建築物の残存数を調査により把握する。
指標	残存する歴史的建築物の確認数:現状は不明(平成4年 106件)→事業実施後 100件

令和3年7月19日

甲 倉敷市西中新田 640 番地
倉敷市
倉敷市長 伊 東 香 織



乙 倉敷市東町 2-2
井原市井原町商店街地区歴史的建築物残存調査実行委員会
NPO 法人倉敷町家トラスト
代表理事 中 村 泰 典

